

パンジー

1歳児クラス 14名 20分

活動

- ・パンジーの種まき

○活動内容

- ・パンジーの種まきをする。
- ・パンジーの種に触れてみる。
- ・水やりをする。

準備したもの

- ・パンジーの種
- ・パンジーの写真
- ・プランター、土

○保育者の問いかけやアプローチ

- ・グループタイムでは、パンジーの写真を見せながら、種まきについて簡単に伝えることで、子どもたちがこれから育てる植物に興味や期待をもてるようにした。言葉だけでなく写真を用いることで、1歳児でもイメージしやすいように配慮した。
- ・パンジーの種を植えたプランターを室内前のテラスに設置し、いつでも見たり近づいたりできる環境を整えた。日常の中で繰り返し観察することで、小さな変化にも気づきやすくし、自然への関心が継続するようにした。
- ・室内にもパンジーの写真を掲示し、実物と写真を結び付けながら「これかな？」と見比べられるようにしたことで、認識を深めるきっかけとなっていた。
- ・日々の生活の中で水やりの時間を設け、子どもたちと一緒に世話をを行うことで、植物への親しみや愛着が育まれるようにした。「おおきくなーれ」と関わる中で、成長を楽しみにする気持ちや継続して関わろうとする姿が見られていた。

○子どもの様子

- ・前回のコスモスの種まき経験があったため、子どもたちは今回の活動内容をすぐに理解し、見通しをもって参加する姿が見られた。経験の積み重ねが安心感につながり、主体的に関わる姿勢へとつながっていた。
- ・前回の種よりも小さかったことに気づき、「ちいさいね」と言葉にする姿があり、形や大きさの違いに目を向ける様子が見られた。小さな変化や違いに気付くことで、観察する視点が少しずつ育っていた。
- ・「種まきをしてみたい」と自分の思いを伝える子どもの姿もあり、経験を通して次への意欲につながっている様子がうかがえた。一方で、無理に関わらず、触らずに見るだけで楽しむ子どももあり、それぞれのペースで安心して参加できる環境となっていた。
- ・保育者が水やりを行っている時、「〇〇ちゃんもする」と自ら関わろうとする姿も見られ、身近な大人の姿を見て模倣しながら、植物への関わりを広げていく様子が見られた。



○振り返り

- 前回の種まきの経験があったことから、子どもたちは今回の活動についてもおおよそ内容を理解している様子が見られた。繰り返しの経験によって見通しをもって関わる姿が育ってきており、その中で「やってみたい」と自分の思いを言葉にする子どもの姿もあった。今後同様の活動を行う際には、少人数ずつ丁寧に種まきを行うことで、一人ひとりがじっくりと関わり、達成感を味わえるような方法も検討していきたい。
- 種まきをしたパンジーをテラスに設置することで、日常的にいつでも観察できる環境となり、成長の変化に気づきやすくなっていた。
- 今回の活動を通して季節の花への興味を育むことができたため、今後も身近な自然に触れる機会を継続的に設け、子どもたちの気づきや関心が広がるような活動を続けていきたい